

令和5年度 雀宮中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

自主・自立の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する。

(2) 具体目標

- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
- 進んで学びよく考える子ども（やる気）
- 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）

合言葉 「元気・やる気・思いやりのある 雀央っ子」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は、児童にとって、安心かつ安全な場所、楽しく前向きなエネルギーをもった場所でなければならない。児童は、そのままの自分を受け入れてくれているという安心感の中で自己の存在感を得得し、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして、未来に向かって夢をもち、道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また、学校は、学びの面白さを実感できることなくしてはならない。児童は、主体的・対話的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気づいていく。

そのために、教職員が、常に前向きな姿勢で職務に取り組み、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 成長し続けるための基盤を培う

社会がどのように変化しようとも、生涯にわたって成長し続けることができるよう、基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力を育成する。

(2) 安心と成長の場となる学校をつくる。

温かい人間関係の下、児童一人ひとりのよさと可能性が生かされた、行きがい・居がいのある学校を作る。

○(3) 基礎・基本を確実に定着させ、それらを活用する力を育成するとともに、目標をもち、自ら学ぶ意欲を育む。

「学習意欲を高める授業」「学習内容が確実に定着する授業」「主体的・対話的に学び合う授業」づくりを工夫する。

(4) 自信とたくましさ（折れない心・粘り強さ）を育成する。

自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、困難に負けないたくましい心をもった児童の育成のためキャリア教育の充実を図る。

(5) 健康を管理する力・危険を回避する力を育成する。

生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。

(6) 未来を生き抜く力を養う。

ICTを効果的に活用しながら、グローバル化や情報化の一層の進展など、未来の急激な時代の変化に向き合い、生き抜くための資質・能力を育成する。

(7) 信頼される教職員を育て、学校のチーム力の向上を図る。

学校における働き方改革の一層の推進を図り、時間と心にゆとりをもち、教職員の健康安全を大切にしながら全教職員が自己の持つ能力を最大限に発揮できるチームを作る。

(8) 地域とともにある学校づくりを推進する。

保護者や地域と思いを共有し、児童の社会と関わる力、よりよく学びよりよく生きていく力を身に付けるための環境を整える。

【雀宮中学校地域学校園教育ビジョン】

一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成

～ 生き生きとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ・ 知・徳・体の調和のとれた発達を目指すため、各教科・道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図った編成を行う。
- ・ 地域学校園教育ビジョンである「一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。
- ・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。

(2) 留意点

- ・ 昨年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・ 教科横断的な視点を持ち、各教科間または各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮するなど、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園児童生徒の課題から、今後育てていきたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

業務の内容を見直し、効率化を図ることで、児童と過ごす時間を大切にするとともに、教職員が持てる力を有効に発揮し、チームとして動ける学校づくりに努める。また、地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある開かれた学校づくりを行う。

- ・ 温かい人間関係の下、児童一人ひとりのよさと可能性が生かされた、行きがい・居がいのある学校を作る。
- ・ 若手教職員に対するOJTの推進と、互いに学び合えるチーム作り
- ・ 全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に応え合えるチーム作り
- ・ 教職員が、心身ともに健康な状態で職務を遂行するための業務の改善の視点の共有と勤務時間を意識した働き方の推進
- ・ 地域の教育力を生かし学びを深めるため、地域協議会や関係機関及び団体等と連携し幅広い人材を活用
- 地域学校園内での情報交換を密にし、各校の課題等について解決の方向性や対策に対する見解を話し合い共有
- ・ 児童の育成について思いを一つにし、家庭・地域と連携しながら、信頼される学校作りを推進

(2) 学習指導

- ・ 「学習意欲を高める授業」「主体的・対話的に学び合う授業」「学習内容が確実に定着する授業」づくりを工夫する。
- ・ 「宇都宮モデル」（はっきり・じっくり・すっきり）を踏まえた授業改善
- ・ 「はっきり」…実生活に関わる教材の提供、思考・判断・表現を促す問いの工夫。
- ・ 「じっくり」…協働的解決のための時間の確保、事前の授業の様子的確な想定、適切な評価ときめ細かな指導の充実
- ・ 「すっきり」…児童の学びをもとに結論をまとめる、言語による振り返りの充実、習得した知識の活用と定着を図る。
- ・ 課題に粘り強く取り組む力、主体的に学習を調整していく力の育成。
- ・ 授業の質的向上を図る一人一台端末の効果的な活用。
- ・ 特別支援教育の視点を取り入れ、児童の発達の特性や理解度に応じた個別最適な指導の充実
- ・ 人権教育では、教科等で「子どもの権利」についての理解を深める指導を行う。
- ・ 主権者教育では、学級活動及び児童会で、合意形成を図れるよう指導の充実に努める。
- ・ SDGs等現代的な課題に対応するための、問題解決的な学習と教科横断的なカリキュラムマネジメントの充実
- 児童が自身の変容や成長を自己評価することで、将来の夢や目標をもたせる「宮・未来キャリアパスポート」の活用の工夫
- ・ 情報活用能力の育成とデジタル・シティズンシップ教育の充実
- ・ 自分たちの市や町に対する理解を深め、誇りがもてるようにするための、生活科や総合的な学習の時間の充実（「宇都宮学」「雀宮についての学習」「雀央サミット（「WE LOVE 雀宮」発表会）
- ・ 英語教育・国際理解教育の充実

(3) 児童生徒指導

「魅力にあふれ安心して過ごせる学校」にするとともに、自己肯定感を高め自信をもって活動できる児童、挑戦する心、あきらめない心などのたくましさの涵養に努める。

- 教育活動全体を通じた「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実
- ・ 自信や自己有用感の向上を図るための、認め・褒め・励ます指導
- ・ 豊かな感性を育む体験活動・読書活動の充実
- ・ いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場の設定

- ・ 不登校を生まないチーム支援の充実
 - ・ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するための多様な学びの場の提供
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力
生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- ・ 運動に親しみ、運動量を確保する活動の工夫
 - ・ 健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力の育成
- 食事の重要性や栄養バランス等、より良い食生活についての指導
- ・ 危険を予測し、自分の命を自分で守り抜く行動力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 基本的な学習態度や学習技能の習得を図るための手立てを、全学級で行う。 (1)発達段階に応じた「発表する力」「聞く力・話し合う力」のポイントの揭示 (2)小集団学習の効果的な活用 (3)話合いの観点の提示、発表の場の工夫 (4)インターネットや図書等の資料の効果的な活用</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1042 757 1497 837"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.5</td> <td>100.0</td> <td>88.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 具体的な取組を着実に実践し、主体的に学習活動に取り組める手立てをしていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	92.5	100.0	88.2	
児童	教職員	保護者	地域住民									
92.5	100.0	88.2										
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 道徳の時間の指導を要として、思いやりのある豊かな心情を育成する。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ、異学年集団による活動を取り入れ、上級生が下級生の面倒をみることを通して、思いやりの心が醸成されるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1042 1227 1497 1308"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.6</td> <td>96.9</td> <td>96.3</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者・児童ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 次年度も縦割り班活動や清掃活動など異学年集団での活動を充実させる。また、道徳の時間を通して思いやりの心を育む取組を継続して実践していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	95.6	96.9	96.3	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民									
95.6	96.9	96.3	100.0									
	<p>A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 目標を立て、自分自身を振り返ることができる活動を効果的に行う。 (1)各種検定表にめあて・振り返りの記入。 (2)キャリアパスポートの活用。 (3)委員会やクラブ活動の振り返りカードの活用。 ○2各種検定等に児童が各自の目標をもって取り組めるよう支援する。 3 学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校便りや学年便りを通して保護者に知らせる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1042 1662 1497 1742"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.5</td> <td>96.9</td> <td>81.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は、数値指標を上回り、保護者も数値指標も達している。</p> <p>【次年度の方針】 宮・未来キャリアパスポートを活用して、児童一人一人がめあてをもって行事に取り組んだり、活動をふり返ったりできるようにしていく。また、家庭にも児童の頑張り伝える場を積極的に設けていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	92.5	96.9	81.9	
児童	教職員	保護者	地域住民									
92.5	96.9	81.9										

1-(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。</p> <p>2 保健だよりや児童指導だより、食育だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。</p> <p>3 保健指導教材を活用し、各クラスにおいて発達段階に応じた指導を行い、感染症予防に対する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.7</td> <td>100.0</td> <td>91.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・保護者ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>普段からの声掛けや委員会の放送、各種便りの発行により指導・支援を継続してきたことで、健康や安全を意識した行動を主体的に取り組めるようになった。</p> <p>【次年度の方針】 登下校時の安全に対する意識を高くもたせるために、年間を通して下校指導を行う。 今後も、危険予測や危機を回避する意識を高めるために、避難訓練の実践的な取組を行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	96.7	100.0	91.7	
	児童	教職員	保護者	地域住民							
96.7	100.0	91.7									
1-(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りや協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童（生徒）は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や総合的な学習の時間、道徳の授業の充実を図り、自己の成長に気付くとともに、友達や社会と進んで関わろうとする力の育成を図る。</p> <p>2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。</p> <p>3 委員会活動や学級の係活動や、学校行事等の様々な活動に、粘り強く取り組ませる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.3</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・保護者ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 次年度も、生活科や総合的な学習の時間、道徳の授業の充実を図り、宮未来キャリアパスポート等を効果的に活用しながら自己の成長や協力することの大切さに気付けるよう指導を継続していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	94.3	100.0		
児童	教職員	保護者	地域住民								
94.3	100.0										
2-(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 教員とALTの打合せを綿密に行い、ALTを効果的に活用した授業が展開できるようにする。</p> <p>2 ALTと日常的に触れ合える機会を増やす。 (1)各教室での給食 (2)清掃活動への参加 (3)クラブ活動への参加 (4)休み時間等での触れ合い</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>87.7</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、授業以外でもALTや外国語に触れることができる場の設定をしていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	87.7	100.0		
	児童	教職員	保護者	地域住民							
87.7	100.0										
<p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、雀宮地域や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。</p> <p>○2「雀宮の日」に合わせて、地域学校園で統一した給食献立を実施する。</p> <p>3 宇都宮の良さを理解できるように宇都宮学の年間指導計画に基づき、指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.0</td> <td>87.5</td> <td>76.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は、数値指標を大きく上回った。授業や校外学習などで体験的な学習を行うことを通して、宇都宮の良さが学べたと捉えることができる。</p> <p>【次年度の方針】 今後も学習内容の充実を図り、体験的な学習機会を設けていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	91.0	87.5	76.7		
児童	教職員	保護者	地域住民								
91.0	87.5	76.7									

2-(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	<p>A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 各教科の授業において、パソコンや実物投影機、プロジェクターなどを効果的に活用した授業を展開する。</p> <p>2 学校図書館司書や南図書館と連携を図り、学習に図書を活用できる環境を整える。</p> <p>3 プログラミング教育など、ICT機器を使用する学習を計画的に実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.3</td> <td>100.0</td> <td>82.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は、数値指標を大きく上回っており、十分満足できる結果となった。一人一台端末を効果的に活用していたととらえることができる。また、学習への図書の利用を計画的に進めるとともに、不足している分類の図書を購入し、蔵書の充実を図っていく。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、ICT機器や図書等を効果的に活用し、学校での取組状況を学校便りや図書便り、学年便り等で保護者に周知していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	90.3	100.0	82.6		B
	児童	教職員	保護者	地域住民								
	90.3	100.0	82.6									
<p>2-(3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進</p>	<p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 社会科や家庭科、総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、環境問題への意識を高める。</p> <p>2 火災や竜巻などの避難訓練の事前指導を通して、防災意識を高める。</p> <p>3 小学校段階での「持続可能な社会」を目指すための課題について確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>75.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は昨年度と比べて5.0%上昇したが、数値指標よりも下回った。</p> <p>【次年度の方針】 小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、実践を伴った活動を取り入れていく。各教科で環境問題を意識して扱う場を設定するようにする。児童が日頃取り組んでいるごみの分別や牛乳パックのリサイクルも持続可能な社会の実現のための取組の一つであることを知らせるなど、児童の持続可能な社会についての意識を高めしていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	91.4	75.0			A
児童	教職員	保護者	地域住民									
91.4	75.0											
<p>3-(1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童指導委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、校内支援委員会などの機会を活用して指導の方向性を明確にし、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。</p> <p>2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		100.0			B
児童	教職員	保護者	地域住民									
	100.0											
<p>3-(2) いじめ・不 登校対策の 充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。</p> <p>(1)いじめゼロ強調月間での取組 (2)学校だより・学年だより・児童指導だより等を活用したいじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信 (3)学校生活アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98.5</td> <td>100.0</td> <td>84.2</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 今年度同様、いじめゼロ強調月間では、教職員発信の取組だけではなく、児童主体の取組を積極的に取り入れ、自分事として考えられるようにしていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	98.5	100.0	84.2	100.0	B
児童	教職員	保護者	地域住民									
98.5	100.0	84.2	100.0									

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認めまし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。</p> <p>3 校内支援委員会を随時開催する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 165 1495 241"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.4</td> <td>100.0</td> <td>93.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 次年度も継続して、居心地のよい学級づくり(自己表現ワークや構成的グループエンカウンター)・ピカイチカードを実践して、自己肯定感・自己有用感を高めていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	97.4	100.0	93.7	
児童	教職員	保護者	地域住民								
97.4	100.0	93.7									
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいそいそとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童生徒が明るくいそいそと学校生活を送れるようにしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 「学校行事等において、様々な立場の児童が、互いを尊重し合って活動を行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、一人一人を大切に学級づくりを目指す。</p> <p>(1)雀央スタンダードの活用 (2)Q-U検査の効果的な活用 (3)共遊の時間(ロング昼休み)の実施 (4)係活動など自発的な活動の実施</p> <p>2 児童の自己肯定感や自己有用感を高めるために、ピカイチカードを積極的に活用する。</p> <p>3 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主體的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。</p> <p>(1)縦割り班活動の工夫・改善 (2)行事運営への児童の参加促進 (3)各種たよりやホームページ等による情報発信</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 607 1495 683"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98.2</td> <td>100.0</td> <td>88.5</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者、地域住民ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、一人一人が活躍できる場を設定し、「いがいのある学校」づくりを目指す。特に、児童主体の活動の場の確保や外遊びを推奨し、明るく生き生きとした児童の育成を目指す。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	98.2	100.0	88.5	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
98.2	100.0	88.5	100.0								
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 確かな学力を身に付けさせるための分かる授業作りを推進する。</p> <p>(1)ねらいとねらいを実現するための手立てが明確な授業、適切な評価と評価が生かされた授業 (2)研究授業や一人一授業の計画的な実践による指導方法の改善</p> <p>2 児童一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。</p> <p>(1)習熟度別学習や少人数指導、ITなど指導体制の工夫 (2)かがやきルームを活用した個別指導の充実 (3)個に応じた教材の開発・活用</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 1229 1495 1305"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98.7</td> <td>100.0</td> <td>87.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童、保護者ともに、肯定的回答は数値指標を上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	98.7	100.0	87.7	
児童	教職員	保護者	地域住民								
98.7	100.0	87.7									
<p>4-(2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 情報の共有・状況の共有を積極的に図り「チーム雀央小」の一員であることをより自覚できるようにする。</p> <p>(1)打合せ用紙の配付による毎朝の連絡 (2)ミニ支援委員会・ミニ対策会議の実施</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 1756 1495 1832"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>96.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、情報の共有や状況の共有を積極的に図り、同一歩調で教育活動を展開できるようにする。行事等では、「チーム雀央」として全員が一丸となって取り組む意識付けを行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		96.9		
児童	教職員	保護者	地域住民								
	96.9										

4-(3) 学校における働き方改革の推進	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 各自が出退勤記録を打刻することや、退勤目標時刻を職員室に表示したり、毎月リフレッシュデーを設定したりすることで、効率的な業務遂行及び勤務時間管理の意識化を図る。</p> <p>2 教職員の負担軽減に向け、前例にとられず、スクラップ&フォーカスを進める。</p>	【達成状況】						
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td></td> <td>71.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>行事等を削減・縮減・簡素化した。教職員の肯定的回答は、数値指標に達するまでには至らなかった。さらに、教職員一人一人の意識改革と業務改善の双方から働き方改革を推進していく。</p> <p>【次年度の方針】 適正な勤務時間に向けた計画的・効率的な業務の在り方を各自が意識できるようにする。行事の精選等、引き続き斬新なアイデアを求め、具体的な取組を実践していく。教職員の意識改革と業務の改善の双方から取り組んでいく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		71.9
児童	教職員	保護者	地域住民						
	71.9								
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域学校園の小学生や中学生、先生と、授業や行事、掲示物などで交流する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、小学校と中学校連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1 地域学校園による「小中一貫教育実施計画」に基づき、中学校との円滑な交流を推進していく。</p> <p>(1)全体会・各部会・分科会実施 (2)地域学校園「あいさつ運動」(年2回) (3)「宮っ子チャレンジウィーク」受け入れ(中学生職業体験) (4)地域学校園内小中合同による南図書館清掃 (5)小中一貫の「体育検定」活用</p> <p>2 取組について児童、保護者、地域へ積極的に情報発信を行う。</p>	【達成状況】						
			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td>96.3</td> <td>88.4</td> <td>84.0</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。保護者の肯定的回答は数値指標を超えることができた。あいさつ運動や宮っ子チャレンジ等、中学生と交流する行事が実施されたことが要因と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 雀宮地域学校園としての実施計画に基づき、引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、小中一貫の活動であることを児童、保護者に意識付けするとともに、活動の様子を各種たよりや学校ホームページ等で発信していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	96.3	88.4
児童	教職員	保護者	地域住民						
96.3	88.4	84.0	100.0						
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。</p> <p>2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。</p>	【達成状況】						
5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進			<table border="1"> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> <tr> <td>95.2</td> <td>100.0</td> <td>91.3</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。「雀央サミット」等の行事や学習ボランティアの活用、企業との連携ができた。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、「雀央サミット」等地域密着型の行事や外部と連携した学習活動の意義や効果を内外にアピールし、より効果的な教育活動を実践していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	95.2	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民						
95.2	100.0	91.3	100.0						

<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 月例の安全点検により、危険箇所の早期把握・早期対応に努める。 2 保護者や利用者へ利用時の注意喚起、危険箇所の表示、AED設置場所、災害時避難方法等の危機対応に関する情報を提供する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100.0</td> <td>90.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>保護者の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。手洗いの場の管理等、衛生面の管理の徹底や、危険箇所について、すぐに周知徹底し修繕できたことが要因と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続していくとともに、危機対応や衛生面に関する情報発信を強化していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		100.0	90.0	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
	100.0	90.0	100.0								
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタル※を積極的に活用している。」 ※デジタル…一人一台端末、学校用グループウェア、校務支援システム、デジタル連絡ツールなど ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 全教職員が使用できるクラスルームを活用して、各教科の授業で利用した教材を共有する。 2 各学級の他、クラブ活動や委員会活動でもクラスルームを活用して児童への連絡の伝達・共有を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>96.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回っており、満足できる結果となった。全校体制でGIGAスクール構想実現に取り組み、一人一台端末を活用した学習を展開した成果と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 一人一台端末の効果的な活用をより一層推進し、学習活動を充実させていくとともに、各種アンケート等にも活用していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		96.9		
児童	教職員	保護者	地域住民								
	96.9										
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1 児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。</p> <p>(1) 年2回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2) 児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.6</td> <td>100.0</td> <td>84.2</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>教職員・保護者ともに、肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 次年度も、家庭や地域へのあいさつの仕方などを、学級の指導を中心に具体的に指導する。学級懇談会や個人懇談で「あいさつ」の話題を出し啓発をする。また、「児童指導だより」や「学校だより」で保護者に周知していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	95.6	100.0	84.2	90.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
95.6	100.0	84.2	90.0								

<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>(1)「雀央スタンダード」「生活のきまり」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2)生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3)学級活動や道徳の授業の充実を図り、規範意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.0</td> <td>96.9</td> <td>93.5</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・児童ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 今年度は、児童主体で考えたきまりを実践したことにより、より自分ごととしてきまりの大切さを考えることができたため、ポイントが高まったと考えられる。 今後は、時代の変化に応じて、柔軟に「雀央スタンダード」「雀央小のきまり」「生活目標」の確認・実施を継続して行う。保護者に「雀央小のきまり」を配付し保護者への周知徹底を図る。道徳の授業（内容項目「規則の尊重」）の充実を図る。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	96.0	96.9	93.5	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民							
96.0	96.9	93.5	100.0							
<p>B3 児童は宿題や自主学習を行う学習習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央スタンダードや家庭学習の手引きを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.0</td> <td>96.9</td> <td>84.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員、保護者ともに、肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、家庭学習強化週間の取組を充実させていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	93.0	96.9	84.5	
児童	教職員	保護者	地域住民							
93.0	96.9	84.5								
<p>B4 児童は、食事の時のマナーをしっかり守っている。(学校園共通)</p> <p>【数値指標】 学校園共通アンケート 「わたしは、食事の時のマナーをしっかり守っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、食事の時のマナーをしっかり守っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央っ子ががんばることや食育の指導計画に基づいた意図的な指導を通して児童の食事のマナー向上を目指す。</p> <p>(1)給食時の巡回指導で食事のマナー(食器の持ち方、姿勢、お箸の持ち方等)を指導する。 (2)食育マナー週間(6月、11月)でチェックリストを活用し食事のマナー向上を図る。 (3)食育だよりやホームページを通して学校での取り組みについて情報発信を行い、家庭での取り組みを促す。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.6</td> <td>93.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・教職員ともに肯定的回答は数値目標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、食育や食事のマナーについての取組を行っていく。また取組内容を進んで情報発信していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	95.6	93.8		
児童	教職員	保護者	地域住民							
95.6	93.8									
<p>B5 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 校内研修の活性化を図る。</p> <p>(1)一人一授業の実践 (2)小グループでの協議を取り入れた授業研究会 2 外部研修への参加を奨励する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		100.0		
児童	教職員	保護者	地域住民							
	100.0									

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【成果】

25の評価項目中23項目で肯定的回答が数値指標を上回ったことから、本市が目指す「児童の姿」「学校の姿」についておおむね適切な取組が行えたと考える。中でも次の12項目は、全評価対象者とも90%超の肯定的回答となり、十分満足できる結果となった。(Aは本市共通の評価項目、Bは本校独自の評価項目)

- ・ A2 児童は、思いやりの心をもっている。
- ・ A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
- ・ A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。
- ・ A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
- ・ A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
- ・ A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。
- ・ A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
- ・ A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。
- ・ B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしています。
- B4 児童は、食事の時のマナーをしっかりと守っている。(学校園共通)
- ・ B5 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。

B2、B4で見られるように、教職員の指導や支援、保護者や地域の方々の声掛け等により、概ね児童はきまりやマナーを守って生活している。また、A2、A4、A5、A10、A12で見られるように、異学年集団での活動を充実させたり、道徳の時間等を通して思いやりの心を育む取組を継続したり、個に応じた指導を実践したりすることで、児童が学校に居がいをもち、健やかに生活している。学習面においても生活面においても、引き続き、保護者や地域の方々の理解や協力を得ながら、指導の充実を図り、児童の力を伸ばしていきたい。

【課題】

25の評価項目中2項目が肯定的回答の数値指標を下回った。これらの項目については、全教職員で改善策を検討し、確実に実施して、肯定的回答が数値指標を上回るようにする。

- ・ A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
- ・ A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。

A9に関しては、小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、実践を伴った活動を取り入れるなど、児童の持続可能な社会についての意識を高めていく。A16に関しては、行事等を削減・縮減・簡素化した。さらに教職員一人一人の意識改革と業務改善の双方から働き方改革を推進していく。

7 学校関係者評価

〔全体〕

- ・ 学校評価書の数値の変動については、あまり気にしなくてよい。自然体で指導・支援を行ってほしい。
- ・ 学校評価書を見て、学校の努力の跡がうかがえる。引き続き頑張ってもらいたい。
- ・ A6「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」については、日々の積み重ねが大切である。
- ・ A9「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」については、一層の努力を願う。
- ・ A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」に関して、学校教育は「効率」だけでは片付けられない。子どもが好きで、「子どものために」という先生もいる。教育がうまく機能していることが大切である。今後もチーム一丸となって教育活動に取り組んでほしい。
- ・ A16「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」に関しては、「仕事にめりはりをつけてほしい」「一層の努力を願う」という意見が出された。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

児童・教職員が、保護者や地域の支援・助言を受けながら、児童と向き合い、真摯に取り組んできたことで、保護者や地域の方々に一定の理解を得られ、多くの項目で数値指標を達成することができたと思う。

一方、「持続可能な社会」への関心については、児童よりも教職員の肯定的回答の数値が低いことから、次年度は、「持続可能な社会」について教職員間で共通理解を図り、意識を高めながら取り組んでいけるようにしたい。

また、業務の効率化については、来年度に向けてさらなる業務の改善と意識の改革を行い、教職員がゆとりをもって児童と健やかに向き合い、持てる力を発揮して、よりよい教育活動を展開できるようにしていきたい。